



2020年

9月

中国四国農政局
徳島県拠点

阿波とん豚（あわとんとん）

十数年の歳月により誕生

「阿波とん豚（あわとんとん）」が生まれるまで



(画像提供) 徳島県阿波とん豚ブランド確立対策協議会

徳島県農林水産総合技術支援センター畜産研究課（以下、「畜産研究課」という。）がイノシシ肉の特徴である「赤い肉色」と「ジューシーさ」を伝える遺伝子領域(第6及び第15染色体)を明らかにし、左図のように肉質の良い豚の品種（デュロック）に、この特定遺伝子領域を保有した個体を選抜し、交配を繰り返した結果、「キメが細かく鮮やかな肉色」「肉汁豊富でジューシーな味わい」「旨味のある脂肪」といった特徴をもった新しい豚が生まれ、一般公募により「阿波とん豚」と命名しました。

畜産研究課では、「阿波とん豚」の原種豚の維持・種豚の供給を行っており、母豚の「出産頭数の向上」のための飼養試験や優良個体の選抜を行うとともに、親豚供給体制の強化に取り組んでいます。

また、指定生産農場（3戸）の施設整備にも取り組み、「阿波とん豚」の安定生産を推進しています。

出荷状況は、2019年度は336頭、2020年度は前年以上の出荷頭数が見込まれています。なお、出荷前の2ヶ月間は麦を中心とした専用飼料を与え、しまりの良い肉に仕上げています。

販売は、徳島県阿波とん豚ブランド確立対策協議会が指定する指定販売店20店、指定料理店8店を通じて行われています。DNA鑑定による偽装防止や個体管理によるトレーサビリティシステムを構築するなど、「信頼性」と「安全性」を高めています。

今年は、新型コロナウイルス感染症に伴う「外出自粛要請」の影響により、外食産業での需要が大幅に減少しました。徳島県の令和2年度6月補正予算において、「阿波とん豚」のブランド力を維持するため、「阿波尾鶏」とともに大学の学生食堂への提供他、ホテル業・飲食業と連携したテイクアウト商品の開発等により「新しい生活様式」に対応した販路を開拓するための事業を行っています。

「若い人に食べてもらうことで、今後の需要拡大に繋がることを期待している。」と徳島県畜産振興課の方は力強く話されました。



awa ton ton

阿波とん豚ロゴマーク

<https://www.awatonton.com> (阿波とん豚ホームページ)

持続可能な社会を目指してノウフクJASを取得、 GAPも取得し安全・安心なトマトを生産・出荷しています！

「はーとふる川内」は、2011年10月に大塚製菓株式会社の特例子会社として設立され、2014年7月から障がい者の新規職域開発^(注)としてハウストマトの生産を開始しました。

その後、生産・出荷工程における様々な工夫を行い、2017年7月には「とくしま安2GAP農産物（優秀）」の認証を取得、2020年1月には中国四国地区ではじめてとなるノウフクJAS（国が制定した「障がい者が生産工程に携わった食品」の認証（全国第8号））を取得しています。

同社西野社長は「当社が栽培したトマトにノウフクJASマークを付して流通させることで、消費者にノウフクJASを知ってもらい、それがエシカル消費に繋がると考えている。障がい者も農業ができることを広く知ってもらい、今後、農福連携で障がい者を雇いたいと考える事業者が増えることを期待している」と話されました。

（注：新規職域開発とは既存の業務を細分化・再構成し、障がい者が担え、かつ組織に貢献する仕事を創設すること）

・ はーとふる川内株式会社ホームページ
<https://www.heartful-kawauchi.co.jp/>



（農場で働く社員：集合写真）

画像提供
 はーとふる川内株式会社



（ノウフクJAS認証書）

#元気いただきますプロジェクト 実施中

農林水産省は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が顕著な品目について、販売を促進するために国産農林水産物等販売促進緊急対策を実施しています。名称は「#元気いただきますプロジェクト」です。

国産農林水産物等の販売が一層促進されることを目的とし、「食えること」をモチーフとした親しみのあるデザインのロゴマークが決定し、本プロジェクトのキャッチコピーは「あなたのひとくちが、ニッポンを元気にする。」です。

「#元気いただきますプロジェクト外部リンク」において、「敬老の日に美味しい食材や、お花を贈ろう」、「Yahoo! ショッピングで特集ページをオープンしました!」、「広瀬すずさんCM&グラフィックギャラリーを公開しました。」等、日々新しい情報が掲載されています。また、年間にわたって季節のイベント等に合わせた対象品目の販売促進キャンペーンを実施していきます。



#元気いただきますプロジェクト外部リンク
<https://www.kokusan-ouen.jp/index.html>

（キャッチコピー）
 「あなたのひとくちが、ニッポンを元気にする」

農林水産省ホームページ（#元気いただきますプロジェクトが始まります!）
<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/200804.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6131(内線223) FAX(088)626-2091 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>